

“自治体クラウドは当たり前” 「小規模自治体における情報システム統合での行政効率化・BCP対策」
 ～ “ボトムアップ型” の取組み ～ （高知県中土佐町・四万十町）

取組概要

“自治体クラウドは当たり前”
 「小規模自治体における情報システム統合での行政効率化・BCP対策」
 ～ “ボトムアップ型” の取組み ～

自治体クラウド(基幹系システム共同化)だけでなく更なる(様々な)システム共同化による「システムコスト削減」「行政効率化」「ICT-BCP対策」「住民サービス向上」「働き方改革」等を実施。

取組の効果

- ① コスト削減(単独利用と共同利用比較)
 1自治体(平均) 年間50,954千円 コスト削減
- ② ICT-BCP対策
 中土佐町役場庁舎は海拔2.6mの為、東南海地震による津波に備え2町サーバは海拔 約200mの四万十町本庁舎へ設置し管理運用(及び遠隔バックアップ)
- ③ 働き方改革
 令和元年度よりモバイルワーク仮稼働を行っており、本年度(令和2年度より閉域モバイル網・仮想デスクトップ等を利用した「テレワーク(ペーパーレス会議)」本稼働予定。

創意・工夫した点

- 共同利用団体間の十分な協議
- 費用負担の考え方の共通認識
- 高度なセキュリティ対策・ポリシー
- 他団体の事でも『自分事』の意識
- 広域化(管理)で一人情シスを補充
- 民間DC高額(遠隔バックアップは共同団体へ)

他団体へのアドバイス

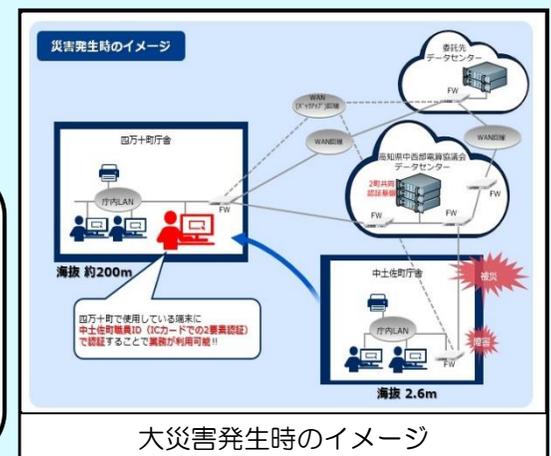
- 単独利用にはコスト削減に限界あり
- 広域化(管理)で『CSIRT強化』
- 相談できる(共同化)相手がいる安心感

人口 中土佐町 6,614人(R2.1.1現在)
 四万十町 16,643人(R2.1.1現在)

担当 高知県中西部電算協議会



共同システム概要図



大災害発生時のイメージ